

家の耐震化は最重要の備えです

昭和56年以前の木造住宅の耐震化などに最大80万円を補助

市は、震災に強いまちづくりの実現のため、耐震性が不十分な木造戸建て住宅の耐震補強工事や、建て替え時の解体工事などに補助金を交付しています。ただし、交付決定前に工事に着手していると補助対象外です。詳しくは市公式サイトで確認してください。



購入する▷相続した空き家の除却工事=相続開始日から起算して3年を経過していない

●補助金額 ①耐震改修工事費用の40%（上限60万円）と省エネ改修工事費用の25%（上限20万円）の合計で最大80万円②費用の23%（上限30万円）

【問】市都市計画課建築係（☎0944・77・8544）

●補助対象工事 ①性能向上改修工事（耐震改修工事と省エネ改修工事の両方を行う工事）②除却工事

●補助対象要件（共通） 次の要件を全て満たす個人所有の木造戸建て住宅▷市内にあり2階建て以下▷昭和56年5月31日以前に建築か工事着工している▷耐震診断の結果、倒壊の危険があると判断された▷補助金の交付を過去に受けていない

●補助対象要件（①） 現在住んでいる人がいるまたは工事後に住む予定がある

●補助対象要件（②）▷建て替えや住み替えに伴う除却工事=現在住んでいる人がいる▷移住に伴う除却工事=自らが居住する住宅を新築するため、空き家を

危険なブロック塀の撤去費用を16万円を上限に補助

市都市計画課建築係へ早めに相談してください

ブロック塀は、プライバシーの確保や防犯など、私たちの暮らしを守るために重要な役割を果たします。しかし、地震などによる災害時には倒壊や落下など、命を脅かす危険なものへと変わったり、避難や復旧の妨げとなったりすることがあります。所有者や管理者は、責任を持って適切に維持管理しなければなりません。市は、危険なブロック塀などを撤去する人に対し、その費用の一部を補助します。詳しくは市都市計画課へ問い合わせるか、市公式サイトで確認してください。



で、避難路（住宅や事業所などから避難所や避難場所までの私道を除く経路）に面する高さ1m以上のブロック塀などを全て、または一部撤去*する工事。交付決定前に工事着手している場合は、補助対象外
*「一部撤去」とは、撤去した残りが、診断カルテで総合評点70点以上となるものです。

●補助額 撤去費用の3分の2、上限16万円まで

【問】同課建築係（☎0944・77・8544）

●対象となるブロック塀 コンクリートブロック造、石造、れんが造、その他の組積造による塀
※門柱やフェンス、門扉、土留め部分の撤去は対象外です。

●補助対象者 次の全てに該当する人

▷ブロック塀などを撤去する所有者や管理者▷同一敷地で、過去にブロック塀などの撤去の補助金を受けたことがない人▷市税を滞納していない人▷暴力団の構成員でない人▷暴力団などと関係がない人

●対象となる工事 診断カルテが総合評点40点未満

これからの季節は風水害に最大限の備えを

5月29日から気象庁の警報基準が変更 レベル4までに全員必ず避難を



梅雨前線や台風による大雨、洪水などの災害が発生しやすくなるこれからの季節。災害に備えて日頃から準備しておくことが重要です。市は、風水害の危険が高くなったら、5段階の警戒レベル（下表1）を使った避難情報を屋外放送などでお知らせします。警戒レベルごとにどのような避難行動をとるべきか、日頃から考えておきましょう。また、災害時にどう対応したらよいかを記した「防災ガイドブック」を作成し、全世帯へ配布しています。この機会にもう一度確認し、災害へ備えましょう。



【問】市総務課地域防災係（☎0944・77・8153）

【問】市総務課地域防災係（☎0944・77・8153）

無料 もしものときの **情報収集**

地上デジタル文字放送

テレビのチャンネルをKBCに合わせてリモコンの「dボタン」を押すだけ。インターネット環境が無くても、情報を見ることができます。

柳川市公式LINE

情報が届くと画面に通知が表示されるので、緊急情報を確実に入手できます。

●表1 避難情報（レベル3で高齢者などは避難、レベル4で全員避難と覚えてください。）

警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	避難行動
5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	すでに命が危険な状況。すぐに安全を確保
4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	高齢者・障がい者・乳幼児やその支援者は避難。その他の人は避難準備や自主避難
2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	ハザードマップや防災ガイドブックで災害リスクと避難行動を確認
1	早期注意情報				最新情報に注意。災害への心構えを一段高める

●表2 第1次避難所（自主避難施設）など

施設名称	住所	電話	施設名称	住所	電話
水都やながわ	上宮永町 43-1	73・7777	大和コミュニティセンター	明野 426-1	76・3269
柳河ふれあいセンター	新町 5-2	72・5478	豊原コミュニティセンター	豊原 138-1	73・6767
城内コミュニティ防災センター	本町 53-1	73・9556	血垣コミュニティセンター	栄 1495-3	76・1519
矢留うぶすな館	矢留本町 150	73・8398	有明コミュニティセンター	血垣開 560-1	76・3173
柳川農村環境改善センター	下宮永町132-1	73・6793	矢ヶ部コミュニティセンター	柳河 431-1	74・2982
有明まほろばセンター	有明町 1490	73・6792	ニッ河コミュニティセンター	木元 57	74・2909
昭代就業改善センター	久々原 126-3	73・6790	垂見コミュニティセンター	垂見 1583-2	72・5230
蒲池農村環境改善センター	矢加部 251-3	73・6791	中山コミュニティセンター	中山 794-2	63・5524
旧大和生涯学習センター	栄 231	76・1116	藤吉コミュニティセンター	高畑 256	74・6466
大和漁村センター (中島コミュニティセンター)	中島 385	76・0864	三橋体育センター (ペット同伴専用)	正行 431-2	73・4489
六合コミュニティセンター	六合 1677	76・5822	このゆびとまれ (子育て世帯専用)	上宮永町 22-7	72・7706